

船舶インシデント調査報告書

令和6年6月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	令和5年9月3日 06時30分ごろ
発生場所	兵庫県姫路市男鹿島南方沖 男鹿島灯台から真方位184° 1,700m付近 （概位 北緯34°38.6′ 東経134°34.9′）
インシデントの概要	プレジャーボートLavieen Roseは、漂流中、船外機の運転ができなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和5年12月20日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート Lavieen Rose、1.7トン 260-45247兵庫、個人所有 ガソリン機関、船外機、4サイクル、出力66.2kW、回転数毎分 5,500、4気筒、ボア79.0mm、使用燃料ガソリン、機関製造 年月日不詳、平成19年3月進水
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏 日出時刻：05時36分ごろ
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、船外機を停止して漂流し釣りを行った後、船長が、釣り場を移動しようと船外機を始動したところ、始動してもすぐに停まってしまう状況が何度も続いたので、運航不能と判断して錨泊し、118番通報して救助を要請した。</p> <p>本船は、来援した巡視艇によりえい航され、僚船がえい航を引き継ぎ、姫路市白浜町の定係地に戻った。</p> <p>整備業者は、本インシデント後に船外機を点検したところ、冷却海水ポンプが海水を汲み上げていることを確認する検水口付近のプラスチック製カバーに経年劣化による亀裂が生じ、そこから船外機内に浸入した海水によりワイヤハーネス（操縦席から船外機へ制御電気信号を伝える電線の束）接続部が濡れて、船外機に制御電気信号が伝わらなくなっていることを確認した。</p> <p>整備業者は、本インシデント前に船長から船外機の定期点検を依頼された際、使用時間が約1,900時間に達していたので、新替えを提案していた。</p>

<p>分析</p>	<p>本船は、船外機の使用時間が約1,900時間に達していたところ、漂流中、船外機の検水口付近のプラスチック製カバーに経年劣化による亀裂が生じたことから、船外機内部に浸入した海水によりワイヤハーネス接続部が濡れて、操縦席から船外機に制御電気信号が伝わらず、運転ができなくなり運航不能となったものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本インシデントは、本船が、船外機の使用時間が約1,900時間に達していたところ、漂流中、船外機の検水口付近のプラスチック製のカバーに経年劣化による亀裂が生じたため、船外機内部に浸入した海水によりワイヤハーネス接続部が濡れて、操縦席から船外機に制御電気信号が伝わらず、運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間使用した船外機を使用する船長は、定期点検等の際にプラスチック製部品等の経年劣化の有無も確認し、必要に応じて補修又は交換すること。